

◆埼玉県によるインタビュー！当組合の「中小企業のIT支援」事例を報告しました。

4月20日(水)埼玉県 産業労働部 商業・サービス産業支援課からの要請により、「中小企業のICTの活用事例」の報告を行いました。これは、地域経済の活性化に向けて、県内の中小企業が※ ICT(=IT)を活用し、生産性向上を図ることを目的とした取り組みです。埼玉県では、平成28年度より、中小企業のICT活用に向けた施策を検討しており、「中小企業のIT支援」の先進事例を知り、県内の中小企業に広くその成果を展開することを狙いとされています。



※ ICTとは、information and communication technologyの略称で、情報通信技術のこと。

当組合では、平成25年より、組合員に向けた「中小企業のIT支援」を行ってきました。そのIT支援におけるコンセプトは、【経営者が視たい、知りたい情報をタイムリーに抽出する】【経営人材が本来業務に注力できるようにする】です。埼玉県によるインタビューでは、この2つのコンセプトを体現した「中小企業のIT支援」の事例を報告しました。

事例◎【経営者が視たい、知りたい情報をタイムリーに抽出する】

:デザイン性の高い高級服飾製品を生産、販売するA社では、製造を担当する職人さんが製品の在庫管理や伝票処理を手作業で行っていました。職人さんにとってデザイン性を要する製造とは全く異なる管理業務のため、非効率的な作業となっていました。ICTを活用し、商品管理をバーコードによるデータ管理に切り替え、データベース化することで、格段に管理工数が削減できました。また、管理データは即、抽出することができるため、経営者にとっては、製品在庫や売れ筋情報の見える化で実現可能な販売戦略の策定が可能となりました。

事例◎【経営人材が本来業務に注力できるようにする】

:中小企業の現場では限られた経営資源の中で、貴重な経営人材が一人二役、三役と役割を担い、経営人材が発展的な本来業務に注力できない現状があります。自動車部品の加工を行うB社では、経営幹部が給与計算業務を行い、伝票処理を行っていました。そこで、エクセルを活用した支援を行い、給与計算業務や伝票処理業務の作業効率を短縮し、業務の一部をアウトソーシングすることに成功しました。そうすることで、経営幹部(経営人材)にとっては、今まで給与計算等に費やしていた時間が新規開拓など発展的な本来業務に振り分けることが可能となりました。

今回の「中小企業のIT支援」事例の詳細は、WAVE 5月号、6月号で2ヶ月に渡り、掲載します。自社のICT活用による生産性向上に繋がる情報になれば幸いです。なお、事例の詳細にご関心がおありの際は、当組合事務局まで『中小企業のIT支援の件で』とお問い合わせ下さい。事例概要をまとめた資料をご案内いたします。

◆しまむら・ディズニーで学んだ業務マニュアルの作成と活用セミナー

皆さんは、ファッションセンターしまむら、ディズニーランドには訪れたことがありますか？もちろん、衣服などのファッション性やテーマパークのアトラクション、パレードも重要ですが、わたしが一番印象に残っていることは、現場のスタッフが生き活きと働いている姿です。それら現場では、年齢や性別に関係なく、会社が大切にしたいこと(理念)が現場の仕事に落とし込まれていました。そのための手段として、業務マニュアルが活用されています。

しまむらやディズニーと同様、我々の現場にも存在し、使用している業務マニュアルと何が違うのか。そもそも、業務マニュアルは一体、何のためにあるのでしょうか？それは、仕事を手順通りに進めるためのもの、という役割もありますが、しまむらやディズニーでは「教育システム」として、機能し、日々更新されています。余談ですが、しまむらでは、業務マニュアルは「最も優れたベテラン社員の仕事のやり方を標準化したもの」と位置付けられ、A4サイズで5,000頁にも及んでいるとのこと。

そこで、これら成功企業の業務マニュアルをベンチマークし、その作成と活用のポイントを解説いたします。開催は、5月20日(金)です。別紙、セミナーのご案内をご確認ください。

◆集団扱い制度による保険料の「5%割安」をご存知ですか？

当組合は、組合員数1,895社(H27.9.30時点)の大規模組合です。その活動規模を活かした集団扱い制度による損害保険の保険料割安制度のご案内です。この制度は、企業(事業主)と従業員のいずれの保険も集団扱いの対象となります。

企業活動では、業務中の危険(従業員災害・自動車事故・PL事故・什器商品損害)や、業務時間外の危険(マイカー自動車事故・家財破損・ケガ)がすぐ隣にあります。会社と従業員を守る「火災保険」「自動車保険」で少しでも割安な保険料を希望される場合には、一度お問い合わせ下さい。割引が一目でわかる資料をご案内いたします。

WAVE掲載記事についてのお問い合わせは、
当組合事務局(☎ :048-658-8881)までお願いいたします。

しまむら
ディズニー
に学んだ

社長の理念を反映し、 会社の競争力を高める

業務マニュアルの作成と活用

- 業務マニュアルは、なんのために作るのでしょうか？
新人教育、業務の引継ぎ、仕事の標準化・・・等々、そういった目的を持って、せっかく時間を掛けて作成したマニュアルが、「一度読んだきりで使われていない」「実態と合っていない」「誰も見ない」「もはや存在すら知られていない」そんな「残念なマニュアル」になってしまうことがあります。
- ファッションセンターしまむらやディズニーランドでは、業務マニュアルを活用した教育システムで、現場の従業員の大半がパート・アルバイトでもしっかりと現場を運営できる組織を作っていることは、みなさんご存知かと思います。
- では、自社で作成するマニュアルとこういった成功事例とでは、何が違うのでしょうか？
成功企業の業務マニュアルには、その会社の経営者が大事にする考え方(理念)や他社との差別化を図るための業務手順(ノウハウ)が反映されていて、かつ、作成したマニュアルが常に使用される仕組みづくりがセットになっています。また、結果を出している企業では、マニュアル作成は社員が行いますが、まずは経営者がポイントを抑え、取り組みをリードしています。
- このセミナーでは、成功企業に学んだ業務マニュアルの作成と活用のポイントを中小企業の事例を紹介しながら解説していきます。

**参加費
無料**

プログラム

- I. なぜマニュアルを作るのか
- II. マニュアルの構成
マニュアルの基本イメージと
作成ポイント
 - ・社長の理念をどう反映させるのか
 - ・会社の競争力を高めるとは
- III. マニュアルの活用・見直し
- IV. マニュアル導入・活用事例の研究

開催日時

- ①4月27日(水) いずれも
- ②5月20日(金) 13:00受付開始
13:30開始16:00終了

場所

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-135
アライ吉敷1丁目ビル9F セミナールーム
(最寄り駅：大宮駅・さいたま新都心駅)

講師

社会保険労務士法人CWM総研
株式会社自主管理経営
コンサルタント 吉川ゆみ

申込・問い合わせ

FAX送信先:
048-658-8883

リタネッツ事業協同組合 事務局
TEL:048-658-8881

参加日に○ →	4月27日	5月20日
企業名	役職	氏名